

2021 Race Report

2021 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第5戦

第53回 MFJ グランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿 JSB1000 クラス

会場: 三重県 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周 5.821km)

日時: 7月15日(木) 特別スポーツ走行

7月16日(金) 専有走行

7月17日(土) 公式予選&決勝レース1(14周) 天候: 晴れ コース: ドライ

7月18日(日) 決勝レース2(16周) 天候: 雨 コース: ウェット

観客動員数: 17日(土)4,000人、18日(日)6,500人 合計 10,500人

ライダー: #28 東村伊佐三/マシン BMW S1000RR

結果: 予選#28 東村選手 30台中20位(ベストタイム 2'12.816)

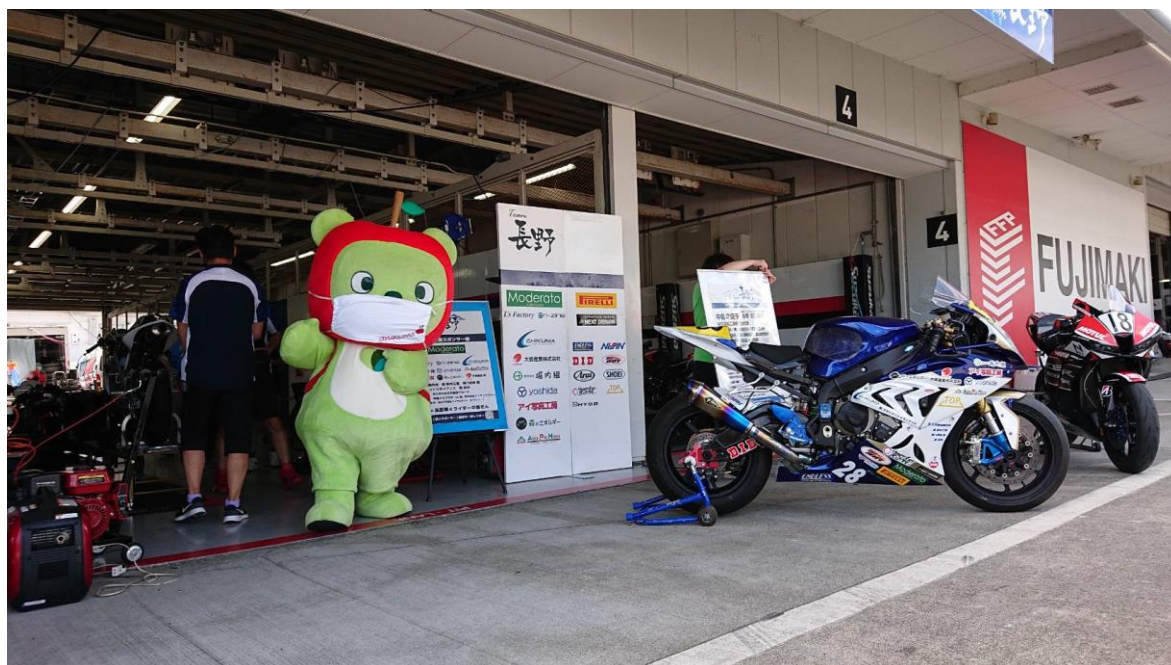
決勝レース1 15位(年間ランキングポイント獲得)

決勝レース2 17位

日頃より信州活性プロジェクト Team 長野にご支援、ご声援をいただきまして、誠にありがとうございます。MFJ グランプリ大会は、全日本ロードレース選手権の中でも統括団体 MFJ の冠を付け第53回目の歴史あるレースとなります。また、ボーナスポイントも加算される全日本選手権の中でも重要なレースです。

そして、秋に開催されます世界選手権の「鈴鹿8耐」へ向け、レース経験の蓄積や、秋を見据えたマシンのセットアップも目標に参戦をいたしました。レース結果は、レース1で15位となり貴重な1ポイント+ボーナスポイントの3ポイントで合計4ポイントを獲得することが出来ました。レース2は順位を落としてしまいましたが、「鈴鹿8耐」へ向け実戦での重要なテストをすることが出来ました。

長野県のPRにつきまして、長野県観光部より長野県PRキャラクター「アルクマ」の着ぐるみを借用し、来場者と直接触れ合うことは出来ませんでした。決勝グリッドへ登場し多くの来場者へPR出来ました。また、インターネットでのレース中継での放送や、レースファンのSNSで「アルクマ」が話題になるなどコロナ感染対策の中でも高いPR効果があったと思います。



■公式予選

梅雨明けとなった東海地方は、今シーズン一番の暑いコンディションとなりました。ライダーやマシンには暑さという負荷が大きく影響し厳しい予選となりました。

そして、今大会からより速く安定して走れるマシンにするため仕様変更をしてレースに挑みました。木曜日、金曜日とライダー及びメカニックが精力的にマシンのセットアップを進め、予選を迎えることとなりました。路面温度が 50℃近くなり、一般的にはタイヤの摩耗が著しい温度域と言われています。その中でも、ライダーは渾身の力を振り絞り限界のアタックを行います。その結果、12 秒台へとタイムが縮まり、もう一息というところで他車のマシントラブルにより赤旗中断となってしまう。リスクの高いコンディションではこれ以上のアタックは難しい状況でした。



■決勝レース 1

当日は引き続き夏日でのレースとなりました。24 台で迎えた決勝レースでは、レースアクシデントによりセーフティーが入るなど波乱のレースとなりました。転倒者も出るなど非常に厳しいコンディションの中、ラップタイムも維持することが難しい状況でしたが、ライダーはレースに集中し暑さとも戦いながら 14 週のレースを走り切りました。レース後半は、タイヤの消耗もありかなり苦戦して走っていました。それでも、最後まで果敢に走った結果、今大会の目標としていた年間シリーズポイント獲得圏内の 15 位でレースを終えることが出来ました。



■決勝レース2

今回の決勝グリッドには、レース1、レース2共に長野県をPRするため、長野県PRキャラクターの「アルクマ」を登場させてレースの盛り上げに一役買わせていただきました。また、長野県のPRも効果的に行うことが出来ました。レース2のスタート直前に降雨もありましたが、直ぐに止んだためドライレースとなりました。レース1を踏まえて、レース2ではセッティングの大きな変更をしました。その結果レース1よりも1周の平均タイムを1秒近く短縮することが出来ました。順位は落としてしまいましたが、確実に速さ、そして安定して走れるマシンの手応えを感じられたレースとなりました。



■東村伊佐三選手コメント

今回の MFJ グランプリ出場は、8 耐に向けて色々としながらのレースという形で挑みました。

公式練習・予選においても通常では試さないパーツを試してテストを行いながらのトライでした。レース1とレース2に於いても大きな変化を試していました。両レースとも想定内の順位で完走、大きな収穫を得られたレースとなりました。内容的にも良い方向性になってきたと思います。今レースも多くの皆様に応援・ご協力を頂き、ありがとうございました。鈴鹿 8 耐までにベストな状態にマシンもチームも成るよう頑張ります！引き続き皆さんの応援を宜しくお願いします！



■武居監督コメント

レース 1 でしっかりとポイントを取ることができ、シリーズポイントをしっかりと加算することができました。

レース 2 では 8 耐や今後を見据えた新たな試みを行うことができ、満足できる結果となりました。

また、今大会では Web オートバイ 8 耐特集やオートスポーツ誌といったメディアの取材も多くあり、チームへの注目度の高さを感じ、同時に注目されていることに対し気が引き締められました。

引き続きチームとして成長できるよう、精進いたします。

